

長島の熱い夏を満喫 サマーフェスティバル2018



↑逃げ回るブリの中から大物をつまえた参加者



↑暴れるブリに悪戦苦闘



↑声を掛け合いながらナイスレシーブ



↑ネット際の熱い攻防

7月28日と29日の2日間、あづま海水浴場で「サマーフェスティバルinながしま」が開催されました。

このイベントは、初日に夏祭り納涼大会、2日目にブリのつかみ取り大会、あづまCUP 2018ビーチバレー大会を開催。真夏のビーチに多くの人々が集い、会場は大いに盛り上がりました。

福岡市から家族と一緒に参加した坂巻正悟さんは「納涼大会とブリのつかみ取り大会に参加しました。長島町に来たのは今回で3回目。自然豊かで食べ物も美味しいので、好きです。来年も来たいです」と満足そうに話しました。



↑納涼大会の最後を飾った打ち上げ花火

■夏祭り納涼大会
夏の夜を楽しもうと1000人を超える来場者が訪れました。会場では、焼き鳥、焼きそば、ボンボン釣りなどの出店が立ち並び、子どもから大人まで楽しんでいました。

納涼大会は、「ケ・アロアロケイキ」によるフラダンスで幕開け。「長島ひよっこ芸」、北村美保子さん（薄井）などによる芸能ショーや子どもたちが参加したスイカの早食い競争などが行われ、観覧席からは盛んに拍手が送られました。

会場の雰囲気も最高潮に達したころ、抽選会でステージは締めくくられ、最後は大輪の花火が、夏の夜空を彩りました。

■ブリのつかみ取り大会
毎年、町外からも多くのかたが参加し、長島を代表するイベントとなったブリのつかみ取り大会。今年は、合計214人が参加しました。

海水浴場の一部を網で仕切り、3〜4口のブリを放流して行われました。

参加者は、素早い動きで逃げ回るブリを、水しぶきを上げながら追い回していました。

鹿児島市から参加した小学2年生の元山樹さんは、「ブリを捕まえるのは難しかったけど、楽しかった」と満面の笑みで話しました。

■あづまCUPビーチバレー大会
同会場内の砂浜で熱戦が繰り広げられたビーチバレー大会は、今年は75チームが参加しました。

選手らは強い日差しの中、8つのコートで試合を行い、砂まみれになりながらも力を尽くしたプレーを見せました。

決勝戦の前には、突如、雨が降り出し、連戦の選手らには恵みの雨となりました。

優勝した「チームゆうき」の手塚直人さん（鹿児島市）は「1回戦から気の抜けない試合だった。3年ぶりに優勝できて嬉しい」と笑顔で話しました。



↑子どもたちのスイカの早食い競争



↑日が暮れるにつれて増えていく観覧者



↑笑いを誘った「酔いどれ子守唄」



↑屋台を楽しむ子どもたち